熊本県立天草青年の家 指定管理者 平成30年度 管理運営評価票

所管部課:教育庁教育総務局社会教育課

I施設の管理概要

指5	定管	理者	名	ひとづくりくまもとネット・三勢共同体
指	定	期	間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
				① 所在:上天草市松島町合津5500番地
				② 施設:本館、講堂、宿泊棟、体育館、屋根付き運動場、キャンプ場等
				③ 目的:本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設
施	設	概	要	置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のため
旭	政	胍	女	の施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や
				季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の
				中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営して
				いる。
指	定管	重	料	300,154,000 円(4施設合計、利用料金制)

Ⅱ管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	41,943 人	43,172 人	前年度実績 41,293 人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

前年度は近隣スポーツ施設の改修工事の影響でスポーツ団体の宿泊利用が減少したが、今年度は 熊本市内の中学校の利用に加え、集団宿泊の利用増もあり、過去10年間では最多の利用者数を確保し た。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組を期待する。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考	
清掃	所内清掃	通年		
/D. 少 . 敬/世	宿直業務	通年		
│保安・警備 │	ボイラー運転監視	通年		
	電気設備保守点検	年12回	専門業者に委託	
	エレベーター設備点検	年12回	同上	
	消防設備保守点検	年2回	同上	
	地下タンク保守点検	年1回	同上	
	ボイラー保守点検	年2回	同上	
	監視カメラ保守点検	月1回	同上	
	空気環境測定	年6回		
	害虫駆除	年2回	専門業者に委託	
保守点検	高架水槽清掃	年1回	同上	
	簡易専用水道検査	年1回	同上	
	水質検査(残留塩素)	週1回		
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託	
	浄化槽清掃	年2回	同上	
	浄化槽法定検査	年1回	同上	
	し尿汲み取り	年1回	同上	
	吸収式冷温水器点検	年3回	同上	
	建築設備定期点検	年1回		

【点検・調査結果及び評価】

施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおりに実施されている。頻度・内容ともに水 準を満たしており、良好に管理されている。

② 運営事業実績

〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
あませい楽校(全8回)	6~3月	164 人	地域の子供たちに年間を通じた体験活動機会を 提供し、地域の魅力に気づき、地域を誇りに思う 子供を育て、将来を担う子供を育成する。
"ほっ"とする場所アマサー(全4回)	7~1月	69 人	地域の中高年の方々の生きがいづくり、地域の人 材や資源を活用し、地域社会の活性化を図る。
あまくさ無人島キャンプ	8/5~12	24 人	大自然の中での共同生活を通じて、仲間と協働するための思いやりの心、工夫する力を身につけるとともに、人間としてのたくましさを育む。
明日にきらめけ!チャレンジ元気ッズ!	9/15~17	36 人	自然体験活動を通じて、外遊びの楽しさについて 理解を深め、子供たちの創造力・コミュニケーショ ン能力を育む。
"みんなのあませい"グラウンドゴルフ大 会	10/12	114人	グラウンドゴルフを通して、地域における生涯スポーツを推進するとともに、地域住民の交流を深める。
"みんなのあませい"秋の祭典	10/14	512 人	青年の家を地域住民に開放、体験活動を通じ青年 の家の活動への理解を深め、地域に根差した施 設としての発展を図る。
あませい通学合宿(全2回)	11~12月	31 人	子供たちは共同生活を通して自立心を育み、親は 子離れを体験することで、家庭教育を見直す機会 を提供する。
電車で GO!	11/23~25	18人	電車の路線がない地域の子供たちが様々な場所 に行く活動をとおして、コミュニケーション能力や 社会性を培い、子供の生きる力を育てる。
第8回天青トレイルラン大会	1/20	18人	青年の家周辺の自然に親しみながら、地元の森岳、千厳山を駆け抜け、トレイルランの醍醐味を味わう。
集え!あませい登山部	3/17	39 人	山登りの楽しさを幅広い世代の方々に体験してい ただき、山登りへの興味・関心を高める。

【点検・調査結果及び評価】

地域の自然等の特色を活かしたプログラムを継続して実施するとともに、新規事業として「電車でGO!」を実施。公共交通機関の利用や、様々な地域の子供たちの共同生活など、現代の子供たちにとっての課題やニーズに応じた体験活動として、教育的効果が高く、体験活動の普及・啓発に寄与しており、今後も継続して実施することを期待する。

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
	開館日数	358 日	352 日	101.7%
	宿泊可能日数	355 日	345 日	102.9%
本館	利用日数	308 日	308 日	100.0%
一	利用率	86.0%	87.5%	98.3%
	利用者実数	15,390 人	14,627 人	105.2%
	利用者延べ数	31,024 人	28,076 人	110.5%
	開館日数	358 日	352 日	101.7%
	宿泊可能日数	355 日	345 日	102.9%
キャンプ場	利用日数	9日	17 日	52.9%
イヤンノ物	利用率	2.5%	4.9%	51.4%
	利用者実数	133 人	232 人	57.3%
	利用者延べ数	343 人	882 人	38.9%
出前講座等	利用者実数	11,805 人	12,335 人	95.7%

【点検・調査結果及び評価】

熊本市内の小中学校への広報活動等の成果もあり、本館利用延べ数は大幅増となったが、出前講座 の利用者が減少している。今後、出前講座の企画および広報活動を強化し、出前講座の利用者増に向 けた取組を行っていただきたい。

キャンプ場利用については、シーズン中の天候不順等により前年度を大幅に下回っている。今後は、キャンプ場利用者増のため、利用者のニーズの把握、環境整備や企画事業(体験キャンプ等)に取り組むとともに、出前講座参加者を施設の利用・宿泊につなげる等、施設利用への取り込みを図る取組みに期待したい。

4 管理経費の収支状況

① 収入

· ///								
項	[1		金額(円)					
利用料金収入	本館	一般 2,675 人、高校生	一般 2,675 人、高校生以下 12,220 人、就学前の者 101 人					
	キャンプ場	一般 61 人、高校生以	下 104 人、就学前の者 4 人	29,310				
	宿泊を伴わない利用	一般 3,075 人、高校生	一般 3,075 人、高校生以下 602 人、就学前の者 337 人					
指定管理料		指定管理者による本旅	76,728,000					
企画事業等収入		14 事業	2,277,670					
その他活動収入		出前講座 46 団体	180,250					
プログラム活動料	金			380,100				
食事代				25,155,820				
シーツ等クリーニ	ング代			1,401,880				
雑収入				592,338				
	計			112,079,168				
			収入未済額	0				
			さた 利田料を加えた					

以八木済領	U
うち利用料金収入分	_
	_

② 支出		
項目	内訳	金額(円)
人件費		63,470,036
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	14,238,372
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	36,616,778
企画事業費		2,160,961
合計		116,486,147

【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。

5 利用者調査結果

=173 -4	調査年月日	平成30年4月1日~平成31年3月31日											
調査実施	調査方法	全て	全ての利用者団体にアンケート調査を実施										
内容	調査対象数	395	395団体										
		回答内容											
	調査分野	非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	306	77.5	77	19.5	11	2.8	0	0	0	0	1	0.3
	活動内容	179	45.3	45	11.4	14	3.5	0	0	1	0.3	156	39.5
	職員の受入れ対応	322	81.5	60	15.2	10	2.5	0	0	0	0	3	0.8
調査結果	職員の指導・助言	255	64.6	61	15.4	13	3.3	0	0	0	0	66	16.7
 	食堂スタッフの対応	144	36.5	43	10.9	17	4.3	1	0.3	0	0	190	48.1
	食事の質	108	27.3	66	16.7	30	7.6	4	1.0	0	0	187	47.3
	食事の量	115	29.1	65	16.5	25	6.3	2	0.5	0	0	188	47.6
	屋内の施設・環境	185	46.8	72	18.2	40	10.1	6	1.5	0	0	92	23.3
	屋外の施設・環境	171	43.3	82	20.8	24	6.1	1	0.3	0	0	117	29.6
	また利用したいか	ぜひ					機会があれば				ない	無回答	
	\$124.010150.49.	342	86.6			51	12.9			0	0	2	0.5
利用者からの意	特に	なし											

【点検・調査結果及び評価】

4施設全体の食堂サービス改善のパイロット施設として、食事メニューの改善に着手したことで、食堂関連では「非常によい」の評価が各項目で向上していることは評価できる。引き続き改善の努力を継続し、食堂サービスの評価向上につなげていただきたい。

昨年の指摘事項ではあるが、前年度に比べ、「非常によい」の評価が各項目で低下している要因の分析のため、アンケート結果の再検討を行っていることも評価できる。平成 30 年度のアンケート結果からは今のところ成果は確認できないものの、引き続き改善の努力を継続し、利用者へのサービスの向上に取り組んでいただきたい。

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容·結果
利用者アンケートにおいて、前年度に比べ、「非常	当日の悪天候により、予定していた活動が実施
によい」の評価が各項目で低下している要因の分	できなかった団体の満足度が低かったことから、
析とサービスレベル向上への取組	事前相談時における荒天時の活動プログラムの
	助言の充実を図っている。

【点検・調査結果及び評価】

指摘事項に対する対応・取組は評価できる。

各団体の利用目的に応じた活動支援(利用相談、プログラム指導)を継続し、利用団体にとって満足度の高い活動や研修の提供を目指していただきたい。

8 その他

アンケートの自由記述欄や活動中の利用者の声などから、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図っていただきたい。